

**TRUSCO**<sup>®</sup>

# 第63期 決算データ分析資料

令和7年(2025)12月期 第3四半期

発行元: **トラスコ中山株式会社** (証券コード:9830)

経営管理本部 経営企画部 広報IR課

〒105-0004 東京都港区新橋四丁目28番1号 トラスコフィオリートビル10F

TEL:03-3433-9840 FAX:03-3433-9881

E-mail: [info@trusco.co.jp](mailto:info@trusco.co.jp)

**TRUSCO**<sup>®</sup>

# 目次

<b>01. 会社案内</b> .....	P.3
会社概要	
ビジネスフロー	
<b>02. 全社経営実績</b> .....	P.6
決算ハイライト	
【連結】経営成績	
【連結】月次売上高	
【連結】セグメント別月次売上高	
<b>03. 販売実績</b> .....	P.11
【連結】セグメント別実績	
【親単体】商品分類別売上高	
【親単体】商品分類別(小分類)売上高増減グラフ	
【親単体】プライベート・ブランド(PB)商品売上高	
<b>04. 財務等実績</b> .....	P.20
【連結】販売費及び一般管理費	
【連結】販売費及び一般管理費 詳細	
【連結】財務諸表・財務指標	
【連結】設備投資一覧	
今後の設備投資計画	
【連結】四半期ごとの実績・予算(四半期)(累計)	
<b>05. 経営計画</b> .....	P.28
【連結】第63期通期経営計画	
【連結】第63期セグメント別経営計画	
ありたい姿-中期経営能力目標-	
<b>06. 各種重要指標</b> .....	P.33
商品／カタログ・メディア／物流／販売／デジタル／人事	
<b>07. ESG情報</b> .....	P.40
TRUSCO「やさしさ、未来へ」プロジェクト	
サステナビリティに関する指標	
社会との関わり・コーポレートガバナンス	
<b>08. 参考情報</b> .....	P.45
株式情報	
業界での指数比較	
当社売上高指数・鉱工業生産指数	

本資料には、将来の業績見通しおよび事業計画に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。  
将来の業績は、経営環境の変化等により、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。  
また、本資料は情報の提供のみを目的としており、当社は現時点での最新情報に更新する義務を負っていません。

# 01

## 会社案内

会社概要

ビジネスフロー

# 会社概要

会社名	トラスコ中山株式会社
創業	昭和34年(1959)5月15日
代表者	代表取締役社長 中山 哲也 公益財団法人 中山視覚福祉財団 理事長 全日本機械工具商連合会 副会長 大阪機械器具卸商協同組合 理事長
本社事務所	東京本社(東京都港区・本店登記) 大阪本社(大阪市中央区)
拠点数	計96か所 国内拠点89か所 本社2か所、国内営業拠点59か所、国内物流拠点28か所(他 3か所準備中) 海外拠点7か所 タイ、インドネシア、アメリカ、ドイツ、台湾、香港 (現地法人3か所、仕入拠点4か所)
資本金	50億2,237万円
証券取引所	東証プライム(証券コード:9830)
従業員数	3,289名(連結)
格付状況	シングル A (株式会社格付投資情報センター)
事業内容	生産現場で必要とされる作業工具、測定工具、切削工具をはじめ、あらゆる工場用副資材(プロツール)の卸売業。総合カタログ「トラスコ オレンジブック」、検索サイト「トラスコ オレンジブック.Com」によりモノづくり現場の資材調達の利便性向上を使命に企業活動を行う。

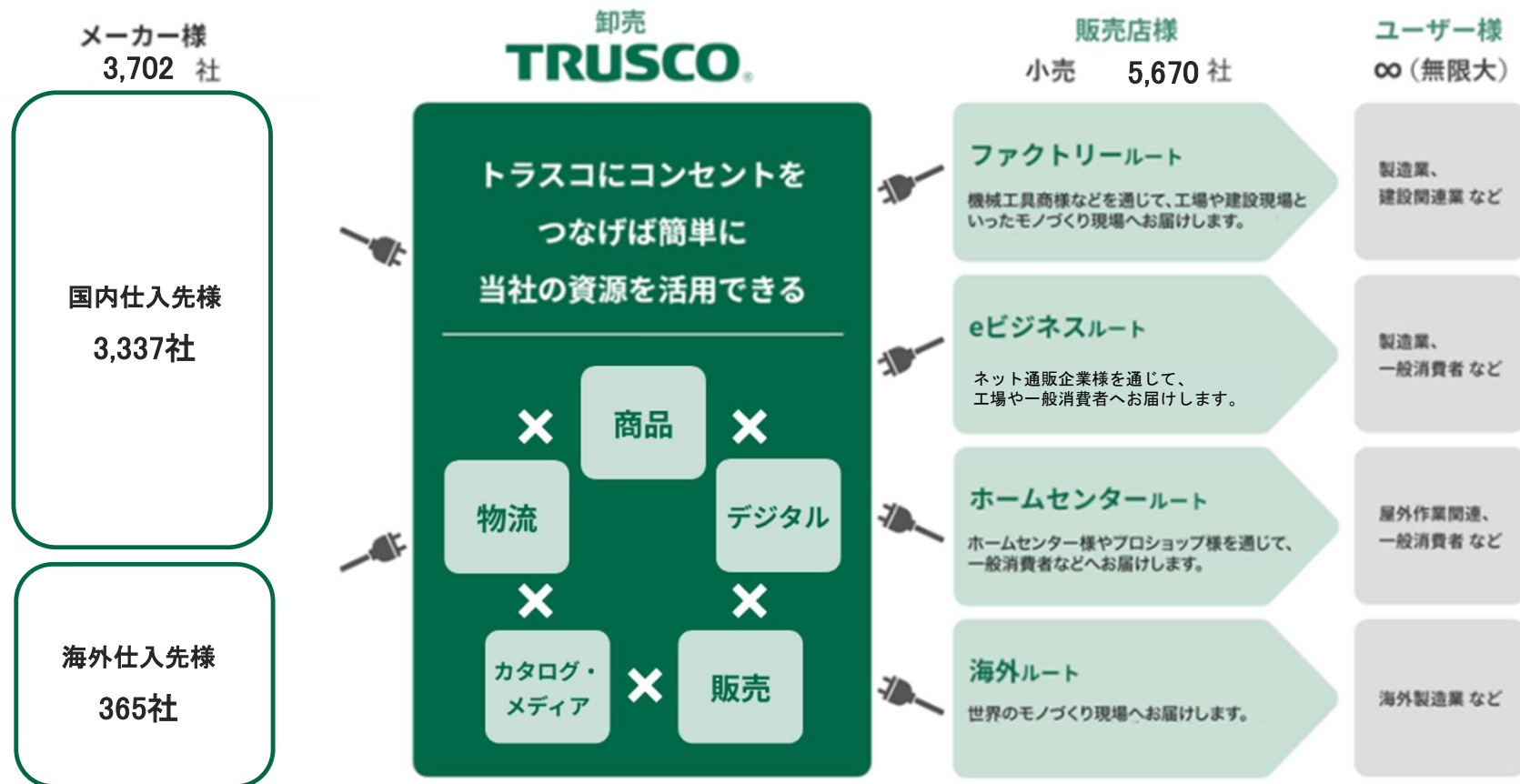
## 企業メッセージ

「がんばれ!!日本のモノづくり」®



東京本社 トラスコフィオリートビル(東京都港区)

# ビジネスフロー



# 02

## 全社経営成績

決算ハイライト

【連結】経営成績

【連結】月次売上高

【連結】セグメント別月次売上高

# 決算ハイライト

## 令和7年(2025)12月期(第63期) 第3四半期 実績について

売上高	2,373億50百万円 (前期比+9.7%)	約61万アイテムの豊富な在庫保有と、最先端の物流機器、そしてデジタルを組み合わせることによって実現する「ニアワセ+ユーチョク」(荷物詰合わせ+ユーザー様直送)をはじめとする利便性の高いサービスの提供により売上が拡大
売上総利益	497億22百万円 (前期比+10.7%)	売上増加と、価格改定により発生した在庫商品の評価益増加により売上総利益が拡大 ※2024年第3四半期累計約7億円、2025年第3四半期累計約14億円(第1四半期約6億円、第2四半期約5億円、第3四半期約3億円)
販売費及び一般管理費	325億68百万円 (前期比+6.2%)	増加要因: 給料及び賞与(+7億59百万円)、運賃及び荷造費(+5億86百万円)出荷量増加に伴う運賃及び荷造費の増加 等 減少要因: 減価償却費(△3億9百万円)ソフトウェアの償却期間満了による影響 等
経常利益	169億59百万円 (前期比+18.3%)	売上増加に伴う売上総利益の増加に加え、在庫評価益約14億円の計上により、前期比+18.3%
親会社株主に 帰属する四半期純利益	115億88百万円 (前期比△0.1%)	前期に旧大阪本社売却に伴う特別利益26億67百万円を計上している影響により、前期比△0.1%

## 令和7年(2025)12月期(第63期) 通期 見通しについて(令和7年(2025)8月12日発表の修正予算です。)

	令和7年(2025)12月期 期初予算	構成比	令和7年(2025)12月期 修正後予算	構成比	前年実績	前期比
売上高	3,174億30百万円	-	3,250億00百万円	-	2,950億24百万円	+10.2%
売上総利益	657億00百万円	20.7%	676億00百万円	20.8%	616億83百万円	+9.6%
販売費及び一般管理費	445億70百万円	14.0%	445億70百万円	13.7%	417億4百万円	+6.9%
経常利益	211億70百万円	6.7%	227億52百万円	7.0%	200億56百万円	+13.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	145億20百万円	4.6%	155億57百万円	4.8%	160億95百万円	※△3.3%

TRUSCO

※親会社株主に帰属する当期純利益は、前年に旧大阪本社売却等に伴う特別利益を計上しています。  
Copyright 2025 TRUSCO NAKAYAMA Corporation. All rights reserved.

# 【連結】経営成績

※1 令和7年(2025)8月12日発表の修正予算比です。

	令和6年(2024)12月期(第62期) 通期 実績			令和7年(2025)12月期(第63期) 第3四半期 実績				令和7年(2025)12月期(第63期) 通期 予算※1	
	実績	構成比	前年比	実績	構成比	前期比	予算比※1	予算	前年比
売上高	2,950億24百万円	100.0%	+10.0%	2,373億50百万円	100.0%	+9.7%	△0.7%	3,250億00百万円	+10.2%
売上総利益	616億83百万円	20.9%	+7.2%	497億22百万円	20.9%	+10.7%	△0.4%	676億00百万円	+9.6%
販売費及び 一般管理費	417億4百万円	14.1%	+6.9%	325億68百万円	13.7%	+6.2%	△0.6%	445億70百万円	+6.9%
(うち減価償却費)	60億44百万円	2.0%	△2.6%	41億34百万円	1.7%	△7.0%	+28.0%	57億7百万円	△5.6%
営業利益	199億78百万円	6.8%	+7.9%	171億54百万円	7.2%	+20.2%	+0.1%	230億29百万円	+15.3%
経常利益	200億56百万円	6.8%	+7.4%	169億59百万円	7.1%	+18.3%	+0.3%	227億52百万円	+13.4%
親会社株主に属する 当期(四半期)純利益	160億95百万円	5.5%	+31.2%	115億88百万円	4.9%	※2 △0.1%	+0.3%	155億57百万円	※2 △3.3%
1株当たり 当期(四半期)純利益	244円09銭	-	+58円04銭	175円75銭	-	△0円20銭	-	235円94銭	△8円15銭
1株当たり配当金	54円00銭	-	+7円50銭	-	-	-	-	59円00銭	+5円00銭
PB売上高	504億78百万円	17.1%	+4.5%	392億22百万円	16.5%	+4.2%	-	540億00百万円	+7.0%
設備投資額	261億63百万円	-	+94.2%	129億41百万円	-	-	-	205億15百万円	△21.6%

## ポイント

・売上高  
前期比+9.7%  
営業日数 前年△1日  
1日当たりの売上高  
1,311百万円(前期比+10.3%)

・売上総利益  
前期比+10.7%  
売上高増加に加え、  
価格改定による在庫評価益が  
約14億円発生した影響

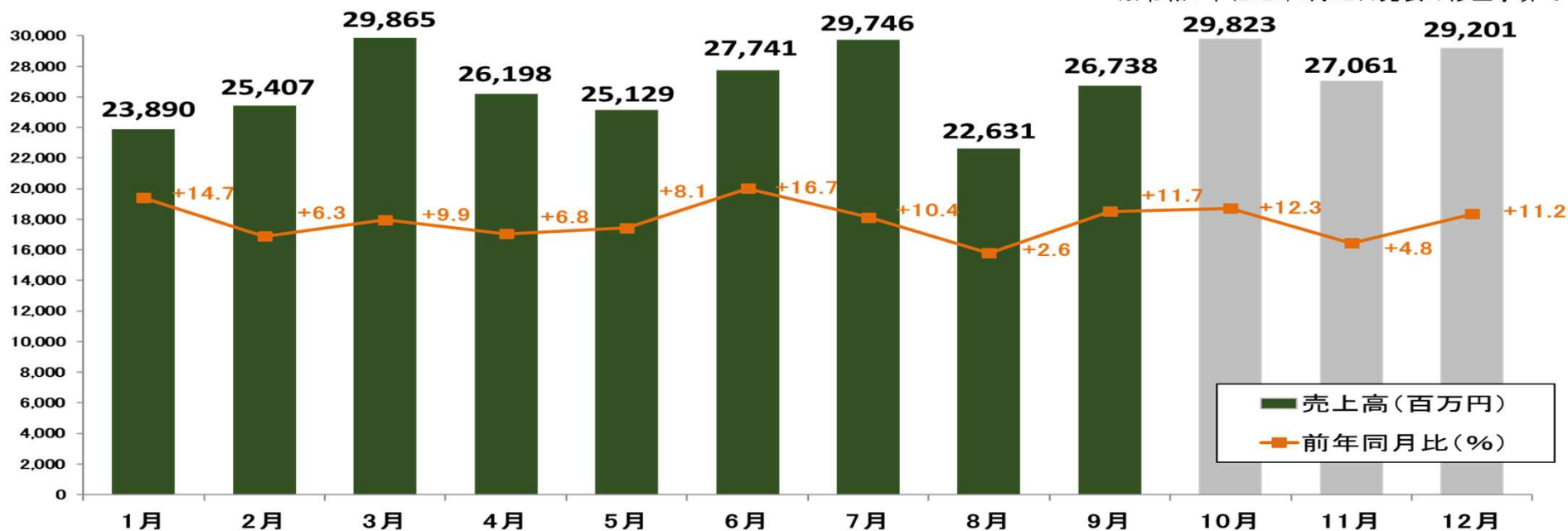
・販売費及び一般管理費  
前期比+6.2%  
(増加要因)  
給料及び賞与、運賃及び  
荷造費 など  
(減少要因)  
減価償却費 など

・親会社株主に帰属する  
四半期純利益  
前期比△0.1%  
前年に旧大阪本社売却等に  
伴う特別利益約27億円を計上  
している影響

# 【連結】月次売上高

令和7年(2025)12月期(第63期) ■ 実績(1-9月)  
 ■ 予算(10-12月)

※令和7年(2025)8月12日発表の修正予算です。



1日あたり売上高

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
1日あたり売上高(百万円)	1,257	1,411	1,493	1,247	1,256	1,321	1,352	1,131	1,336				-
前年同月比(%)	+ 14.7	+ 12.2	+ 9.9	+ 6.8	+ 13.5	+ 11.2	+ 10.4	+ 7.8	+ 6.1				-
営業日数(日)	19	18	20	21	20	21	22	20	20	22	18	22	243
前年同月比(日)	±0	△1	±0	±0	△1	+1	±0	△1	+1	±0	△2	+1	△2

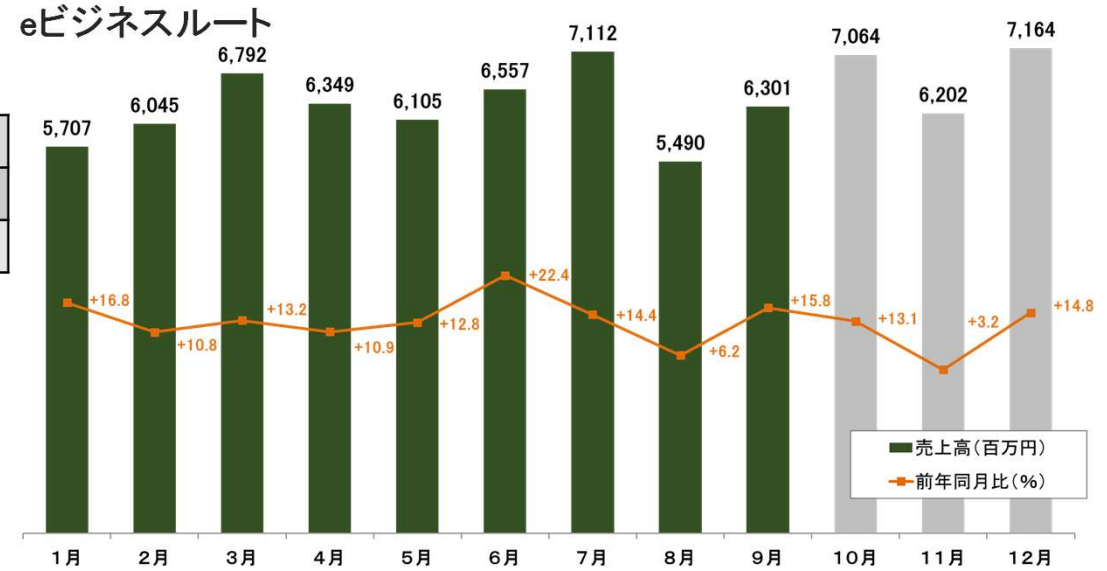
製造現場で使用されている消耗品は日々コンスタントに注文されるため当社は1日当たりの売上高を重視しています。また、多くの企業の決算月である3月は売上高が大きい繁忙期となっています。

# 【連結】セグメント別月次売上高

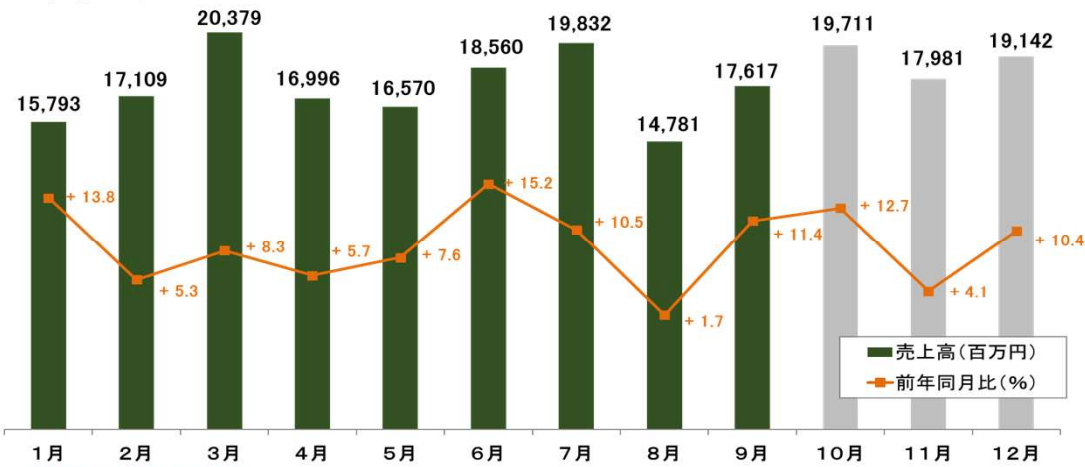
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
営業日数	19	18	20	21	20	21	22	20	20	22	18	22	243
前年同期比	±0	△1	±0	±0	△1	+1	±0	△1	+1	±0	△2	+1	△2

令和7年(2025)12月期(第63期) ■ 実績(1-9月) ▨ 予算(10-12月)

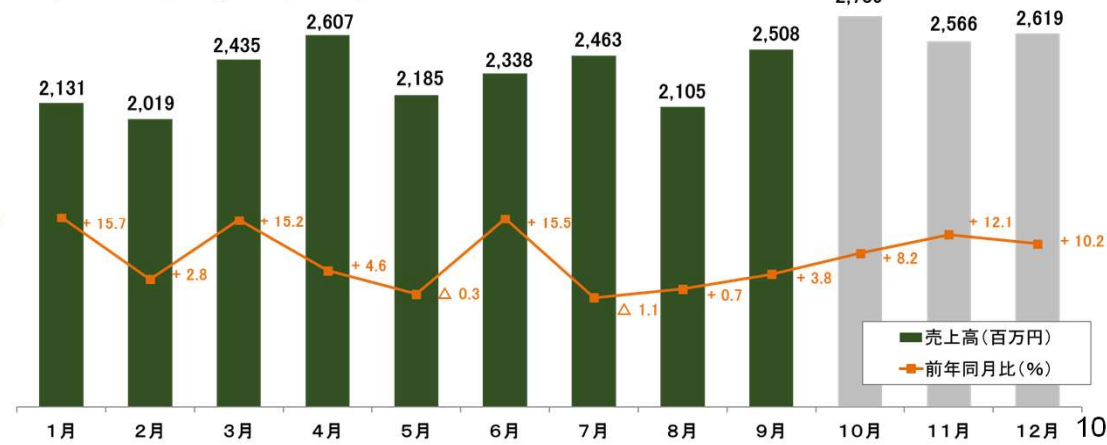
※令和7年(2025)8月12日発表の修正予算です。



### ファクトリールート



### ホームセンタールート



# 03

## 販売実績

【連結】セグメント別実績

【親単体】商品分類別売上高

【親単体】商品分類別(小分類)売上高増減グラフ

【親単体】プライベート・ブランド(PB)商品売上高

## 【連結】セグメント別実績

ファクトリールートの上高は、市場のニーズに即した在庫拡充を進めるなど、得意先様の利便性を高めたことで、前期比+8.8%となりました。  
 eビジネスルートの上高は、ユーザー様直送サービスなど、eビジネスに必要な高品質なサービスを提供することによって利便性を高め、  
 前期比+13.7%となりました。なお、同ルートの構成比は23.8%（前期末比+0.7pt）となりました。

	令和6年(2024)12月期(第62期) 通期 実績				令和7年(2025)12月期(第63期) 第3四半期 実績					
	売上高			売上 総利益率	売上高				売上 総利益率	
販売ルート	実績	構成比	前年比	実績	実績	構成比	前期比	予算比	実績	前期末比
ファクトリー ルート	1,969億47百万円	66.8%	+8.1%	20.6%	1,576億39百万円	66.4%	+8.8%	△0.6%	20.7%	+0.1pt
eビジネス ルート	681億59百万円	23.1%	+15.3%	22.7%	564億62百万円	23.8%	+13.7%	△0.4%	22.6%	△0.1pt
ホームセンター ルート	268億25百万円	9.1%	+10.6%	17.1%	207億96百万円	8.8%	+5.9%	△1.7%	16.9%	△0.2pt
海外 ルート	30億91百万円	1.0%	+19.7%	35.4%	24億52百万円	1.0%	+9.1%	△0.2%	34.0%	△1.4pt
全社合計	2,950億24百万円	100.0%	+10.0%	20.9%	2,373億50百万円	100.0%	+9.7%	△0.7%	20.9%	±0.0pt

## 【連結】セグメント別実績（ファクトリールート）

機械工具商様などを通じて、工場や建設現場といったモノづくり現場へ商品をお届けするルートです。在庫・物流力の強化とともに得意先様の課題解決に繋がるサービスを推進し、売上高は前期比+8.8%となりました。

販売ルート	令和6年(2024)12月期(第62期) 通期 実績			令和7年(2025)12月期(第63期)第3四半期 実績				
	売上高		売上総利益率	売上高			売上総利益率	
	実績	構成比	実績	実績	構成比	前期比	実績	前期末比
機械工具商	958億56百万円	48.7%	21.1%	751億94百万円	47.7%	+6.5%	21.3%	+0.2pt
溶接材料商	276億37百万円	14.0%	20.0%	216億32百万円	13.7%	+6.9%	20.0%	±0.0pt
その他製造関連 (理化学・伝導機・梱包材商など)	327億36百万円	16.6%	19.4%	268億11百万円	17.0%	+10.4%	19.4%	±0.0pt
建設関連	407億17百万円	20.7%	20.7%	340億00百万円	21.6%	+14.4%	20.8%	+0.1pt
ファクトリールート合計	1,969億47百万円	100.0%	20.6%	1,576億39百万円	100.0%	+8.8%	20.7%	+0.1pt

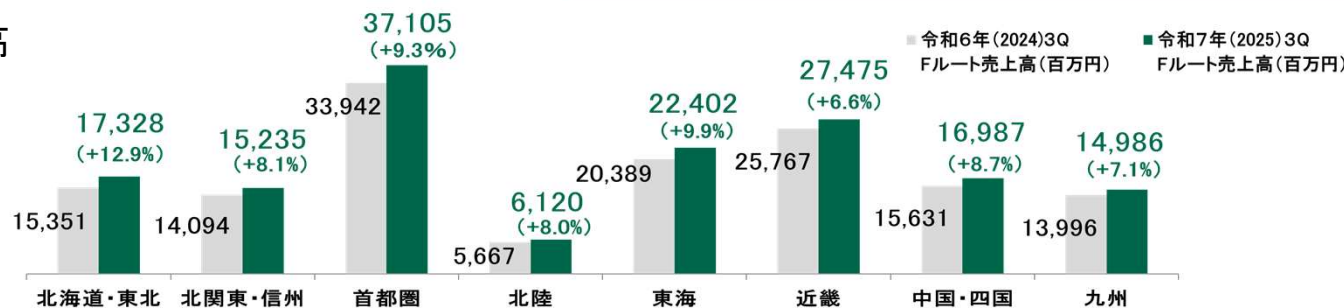
### ポイント

・全国28か所の物流センター、29か所の在庫保有支店において、在庫拡充を進め、受注頻度に合わせて在庫量を適正に管理することで得意先様の利便性が向上し、商流の集約が進みました。

・置き工具サービス「MROストッカー」の設置拡大、サプライチェーン全体の物流コストや手間を大幅に削減できる「ユーザー様直送サービス」の強化、修理サービス「直治郎」の推進など、ユーザー様の課題に合わせて解決策を提案する営業活動を行いました。

・売上総利益率は、在庫評価益の計上により前期末比+0.1ptとなりました。

### ブロック別売上高



## 【連結】セグメント別実績（eビジネスルート）

ネット通販企業様を通じて、工場や建設現場等のモノづくり現場、一般消費者へ商品をお届けするルートです。

「ニアワセ+ユーチョク」(荷物詰合せ+ユーザー様直送)や約411万アイテムに及ぶ商品データベースの連携により納期短縮・納期精度向上を実現し、売上高は前期比+13.7%となりました。

販売ルート	令和6年(2024)12月期(第62期) 通期 実績			令和7年(2025)12月期(第63期) 第3四半期 実績				
	売上高		売上総利益率	売上高			売上総利益率	
	実績	構成比	実績	実績	構成比	前期比	実績	前期末比
通販企業向け	523億34百万円	76.8%	21.5%	432億84百万円	76.7%	+13.5%	21.5%	±0.0pt
オレンジコマース(電子購買) 連携企業向け、MROストックカー	158億25百万円	23.2%	26.5%	131億77百万円	23.3%	+14.2%	26.2%	△0.3pt
eビジネスルート合計	681億59百万円	100.0%	22.7%	564億62百万円	100.0%	+13.7%	22.6%	△0.1pt

### 通販企業向け業種別売上高構成比



TRUSCO

### ポイント

・豊富な在庫と物流機器を活用した「ニアワセ+ユーチョク」など独自の物流サービスにより通販企業様の納期短縮、納期精度向上に努めました。

・3,702社の仕入れ先様との協業を基軸に、約411万アイテムに及ぶ商品・在庫のデータベースと、得意先様のシステムとの連携を加速させました。

・売上総利益率は、商流集約により低下傾向にあり、前期末比△0.1ptとなりました。



## 【連結】セグメント別実績（ホームセンタールート）

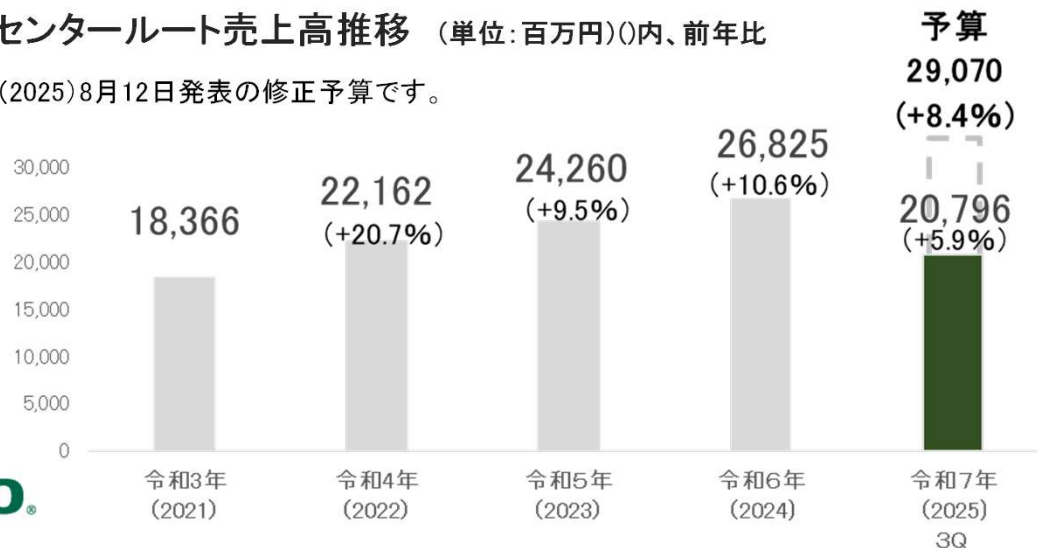
ホームセンター様やプロショップ様を通じて、一般消費者などへ商品をお届けするルートです。

在庫と物流設備を活用し、店舗向けとEC事業向け、プロショップ向けに積極的な提案活動を行い、売上高は前期比+5.9%となりました。

	令和6年(2024)12月期(第62期) 通期 実績		令和7年(2025)12月期(第63期) 第3四半期 実績			
	売上高	売上 総利益率	売上高		売上総利益率	
	実績	実績	実績	前期比	実績	前期末比
ホームセンタールート	268億25百万円	17.1%	207億96百万円	+5.9%	16.9%	△0.2pt

### ホームセンタールート売上高推移（単位：百万円）(〇)内、前年比

※令和7年(2025)8月12日発表の修正予算です。



### ポイント

- ・建築現場などで働くユーザー様をターゲットとしたプロショップなど、各得意先様に対し売場提案や商流集約に向けた営業活動を強化しました。

- ・当社の約411万に及ぶ取扱いアイテム数と約61万アイテムの即納在庫、また物流設備を活用していただき、得意先様のリアルとネットを融合したビジネスへの需要に応えることができ、売上高増加に寄与しました。

- ・売上総利益率は、商流集約により低下傾向にあり前期末比△0.2ptとなりました。

## 【連結】セグメント別実績（子会社業績）

海外ルートにおいては、連結子会社であるTRUSCO NAKAYAMA CORPORATION(THAILAND)LIMITED及びPT.TRUSCONAKAYAMA INDONESIAの業績と、海外部の諸外国向け販売を含めています。

	トラスコ中山 単体				トラスコナカヤマ タイランド				トラスコナカヤマ インドネシア			
	令和7年(2025)12月期(第63期) 第3四半期実績			通期予算	令和7年(2025)12月期(第63期) 第3四半期実績			通期予算	令和7年(2025)12月期(第63期) 第3四半期実績			通期予算
	金額	構成比	前期比	前年比	金額	構成比	前期比	前年比	金額	構成比	前期比	前年比
売上高	2,366億54百万円	100.0%	+9.7%	+10.2%	9億86百万円	100.0%	+13.1%	+5.1%	4億95百万円	100.0%	△3.6%	+14.1%
売上総利益	492億73百万円	20.8%	+10.7%	+9.8%	2億68百万円	27.2%	+15.8%	+3.1%	1億55百万円	31.3%	△9.4%	+8.3%
販売費及び一般管理費	322億98百万円	13.6%	+6.2%	+6.9%	1億44百万円	14.6%	+11.3%	+2.8%	1億24百万円	25.2%	△1.1%	+4.2%
内、減価償却費	40億80百万円	1.7%	△7.0%	△6.0%	17百万円	1.8%	+1.7%	△0.7%	36百万円	7.4%	△8.1%	△5.8%
営業利益	169億75百万円	7.2%	+20.3%	+15.7%	1億23百万円	12.6%	+21.6%	+3.5%	30百万円	6.1%	△32.5%	+19.3%
経常利益	167億81百万円	7.1%	+18.4%	+13.6%	1億26百万円	12.9%	+13.4%	△3.0%	36百万円	7.3%	△27.7%	+13.4%
当期(四半期)純利益	114億41百万円	4.8%	△0.2%	△3.4%	1億26百万円	12.9%	+13.4%	△10.7%	37百万円	7.5%	△26.3%	+13.5%

	令和7年(2025)12月期(第63期) 第3四半期実績		
		売上高	売上総利益
その他海外地域への売上実績 (フィリピン、中国、韓国など)	実績	9億71百万円	2億30百万円
	率	-	23.8%
	前期比	+12.6%	+9.4%

### ポイント

- ・連結子会社では、現地の市場ニーズに即した在庫を積極投入し、在庫を保有するメリットを活かした営業活動を行いました。さらに、現地得意先様及び仕入先様の開拓を進めることで販売活動を強化しました。
- ・海外部の諸外国向け販売では、得意先様へ帳合変更や新商品、新規メーカーの提案を中心とした協業を行い、取引を拡大しました。

# 【親単体】商品分類別売上高

令和7年(2025)12月期(第63期) 第3四半期 実績

(単位:百万円、%)

商品分類(大分類)	中分類	全社売上高	構成比	前期比	粗利率	商品分類(大分類)	中分類	全社売上高	構成比	前期比	粗利率	
1.切削工具	切削工具 計	6,829	2.9	+4.2	16.6	6.環境安全用品	環境安全用品 計	48,984	20.7	+16.6	22.1	
	① 切削工具	3,602	1.5	+2.2	12.8		㉕ 保護具	24,001	10.1	+12.9	24.0	
	② 穴あけ・ネジきり工具	3,226	1.4	+6.5	20.9		㉖ 安全用品	9,885	4.2	+9.5	24.9	
2.生産加工用品	生産加工用品 計	17,648	7.5	+9.7	15.9		㉗ 環境改善用品	2,536	1.1	+20.2	17.9	
	③ 測定計測	9,982	4.2	+11.0	15.5		㉘ 冷暖房用品	7,293	3.1	+37.7	16.9	
	④ メカトロニクス	3,510	1.5	+9.3	15.9		㉙ 防災・防犯用品	3,197	1.4	+22.1	18.3	
	⑤ 工作機工具	1,909	0.8	+5.1	23.9		㉚ 物置・エクステリア用品	2,070	0.9	+23.6	15.7	
	⑥ 電動機械	2,246	0.9	+8.6	11.2		7.物流保管用品	物流保管用品 計	21,792	9.2	+2.3	22.2
	3.工事用品	工事用品 計	27,318	11.5	+9.7			21.4	㉛ 荷役用品	6,557	2.8	+4.8
⑦ 油圧工具		1,796	0.8	+8.6	12.5			㉜ コンベヤ	833	0.4	+4.1	15.9
⑧ ポンプ		3,312	1.4	+10.0	17.2	㉝ 運搬用品		7,931	3.4	+0.7	22.0	
⑨ 溶接用品		2,201	0.9	+2.8	17.9	㉞ コンテナ・容器		3,326	1.4	+2.6	29.3	
⑩ 塗装・内装用品		2,442	1.0	+8.8	25.6	㉟ スチール棚	3,142	1.3	+0.7	25.9		
⑪ 土木建築		2,204	0.9	+2.1	15.4	8.研究管理用品	研究管理用品 計	8,784	3.7	+5.0	21.3	
⑫ はしご・脚立		3,205	1.4	+6.5	21.3		㉟ ツールワゴン	668	0.3	△2.4	28.2	
⑬ 配管・電設資材		4,665	2.0	+19.2	23.1		㊱ 保管・管理用品	1,059	0.4	+2.5	30.9	
⑭ 部品・金物・建築資材	7,490	3.2	+10.6	26.0	㊲ 作業台		1,101	0.5	△10.0	24.1		
4.作業用品	作業用品 計	42,657	18.0	+6.4	21.7		㊳ ステンレス用品	1,776	0.8	+7.8	17.5	
	⑮ 切断用品	1,251	0.5	+1.6	21.3		㊴ 研究開発関連用品	4,178	1.8	+10.6	18.6	
	⑯ 研削・研磨用品	6,227	2.6	+3.6	23.9	9.オフィス住設用品	オフィス住設用品 計	21,716	9.2	+12.8	22.1	
	⑰ 化学製品	23,263	9.8	+7.7	20.4		㊵ 清掃用品	6,038	2.6	+8.1	20.8	
	⑱ 工場雑貨	3,723	1.6	+4.7	16.1		㊶ 文具用品	2,813	1.2	+11.9	19.9	
	⑲ 梱包結束用品	5,520	2.3	+7.7	30.4		㊷ オフィス雑貨	3,089	1.3	+11.9	26.7	
	⑳ キャスター	2,670	1.1	+4.4	17.4		㊸ 電化製品	3,634	1.5	+20.8	20.5	
5.ハンドツール	ハンドツール 計	39,484	16.7	+9.2	18.5		㊹ OA事務用機器	2,384	1.5	+11.8	23.4	
	㉑ 電動工具・用品	12,676	5.4	+11.9	14.2		㊺ 事務用家具	3,462	0.1	+20.1	20.2	
	㉒ 空圧工具用品	6,023	2.5	+7.8	17.6		㊻ インテリア用品	295	0.6	+43.3	43.0	
	㉓ 手作業工具	18,904	8.0	+8.0	20.8	10.その他	㊼ 全体	1,438	0.6	+43.3	43.0	
	㉔ 工具箱	1,879	0.8	+6.7	27.6		合計	236,654	100.0	+9.7	20.8	

## ポイント

夏季商材や工場の稼働に係る商品群を中心に売上が増加しました

・環境安全用品:  
前期比+16.6%  
需要増加により冷暖房用品が前期比+37.7%  
物置・エクステリア用品が前期比+23.6%

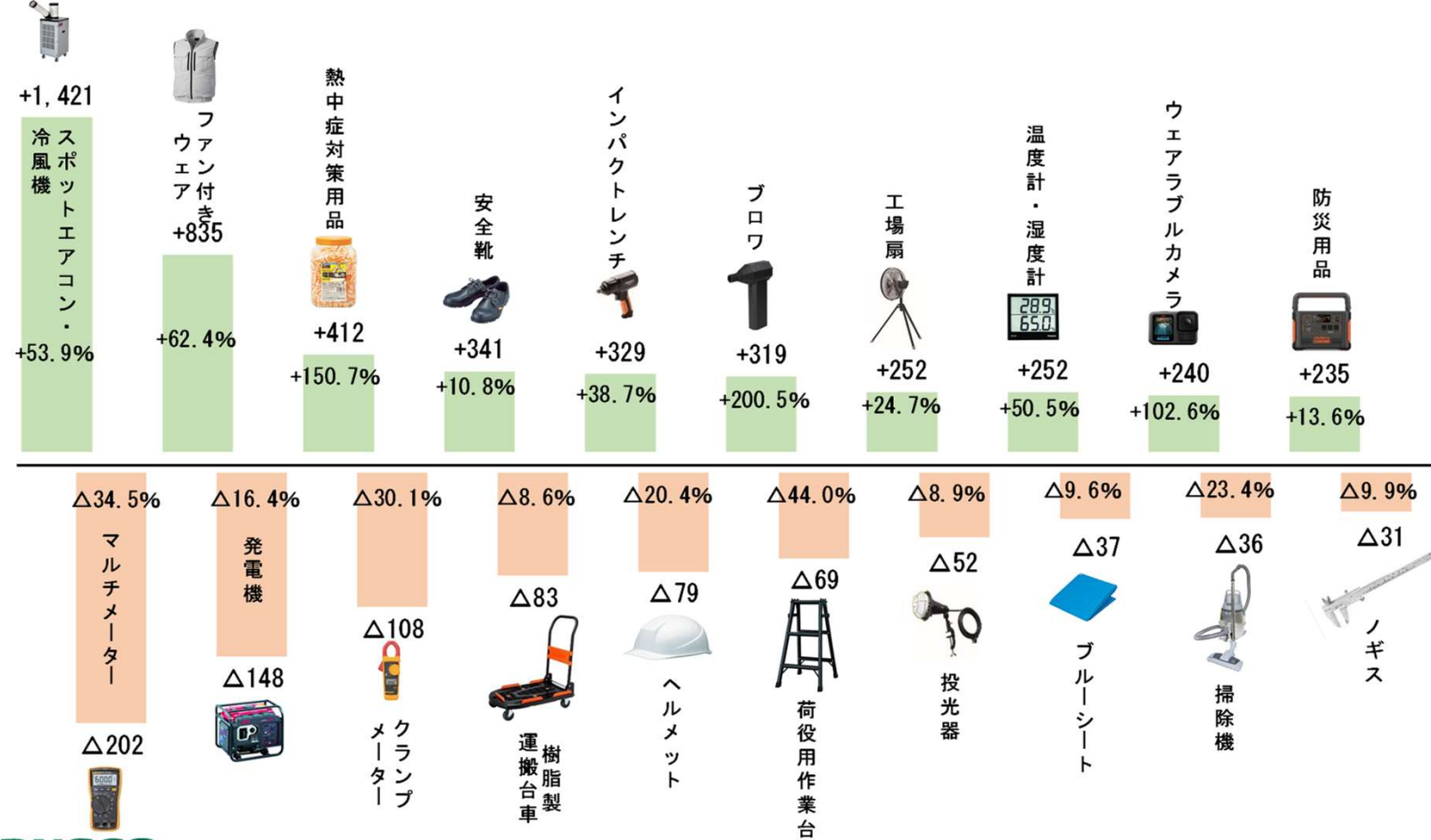
・オフィス住設用品:  
前期比+12.8%  
電化製品と事務用家具が前期比約+20%

・工事用品:  
前期比+9.7%  
配管・電設資材が前期比+19.2%

# 【親単体】商品分類別(小分類)売上高増減グラフ

令和7年(2025)12月期(第63期) 第3四半期 実績

(単位:百万円)



## ポイント

熱中症対策の義務化に伴い、夏季商材の需要が増加し、売上が増加しました。在庫力の活用により安全靴や、世界的な欠品によりウェアラブルカメラ、また、販売強化により防災用品やブロワの売上が増加しました。

2024年発生 of 能登半島地震による、発電機などの災害需要が落ち着きました。また、プライベート・ブランド(PB)商品の台車「カルティオ」の新型発売による特需が一服しました。

# 【親単体】プライベート・ブランド(PB)商品売上高

プライベート・ブランド「TRUSCO」の商品とナショナル・ブランド商品の取扱拡大スピードが異なるため、売上高構成は減少傾向ですが、プライベート・ブランド商品売上高拡大のため、ブラッシュアップを進めています。

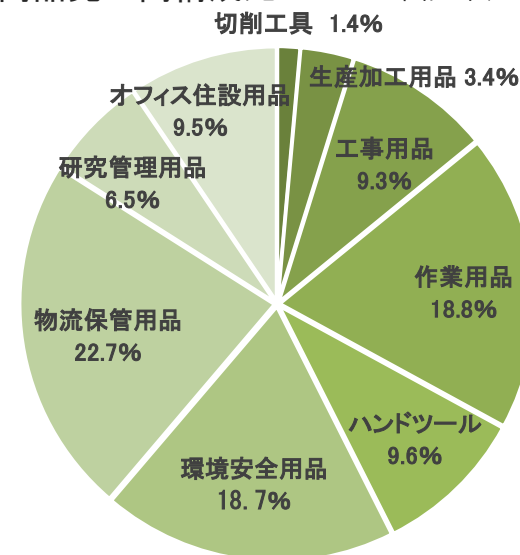
## ■セグメント別・商品分類別売上高

(単位:百万円)

	全体		ファクトリー		eビジネス		ホームセンター	
	構成比 16.6% 粗利率 36.2%		構成比 17.0% 粗利率 36.9%		構成比 19.8% 粗利率 35.2%		構成比 4.4% 粗利率 27.1%	
	売上高	前期比	売上高	前期比	売上高	前期比	売上高	前期比
合計	39,222	+4.2%	26,860	+2.9%	11,185	+7.6%	918	+9.3%
切削工具	563	+3.1%	398	+1.2%	106	+11.1%	49	+2.0%
生産加工用品	1,325	+1.2%	900	△0.6%	384	+5.1%	13	+1.4%
工事用品	3,649	+5.4%	2,382	+3.3%	1,162	+8.8%	82	+38.4%
作業用品	7,385	+4.5%	5,513	+2.9%	1,751	+10.6%	67	△0.5%
ハンドツール	3,773	+0.8%	2,531	△1.4%	1,090	+6.6%	92	+1.4%
環境安全用品	7,320	+10.7%	5,151	+8.4%	1,896	+13.3%	253	+54.3%
物流保管用品	8,922	+1.9%	5,933	2.1%	2,612	+3.6%	337	△7.8%
研究管理用品	2,565	△3.4%	1,711	△2.4%	827	△4.4%	5	△48.2%
オフィス住設用品	3,717	+6.7%	2,337	+3.7%	1,353	+12.7%	17	△10.5%

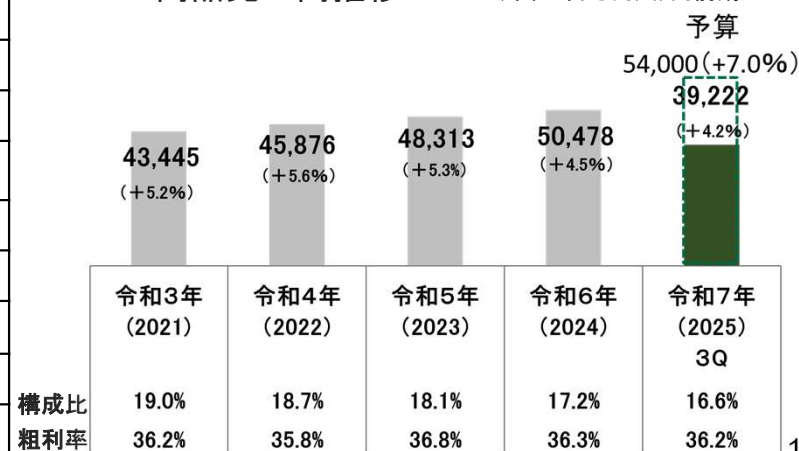
## ■PB商品売上高構成比

令和7年(2025)9月末時点



## ■PB商品売上高推移

(単位:百万円) ( )内前期比



# 04

## 財務等実績

【連結】販売費及び一般管理費

【連結】販売費及び一般管理費 詳細

【連結】財務諸表・財務指標

【連結】設備投資一覧

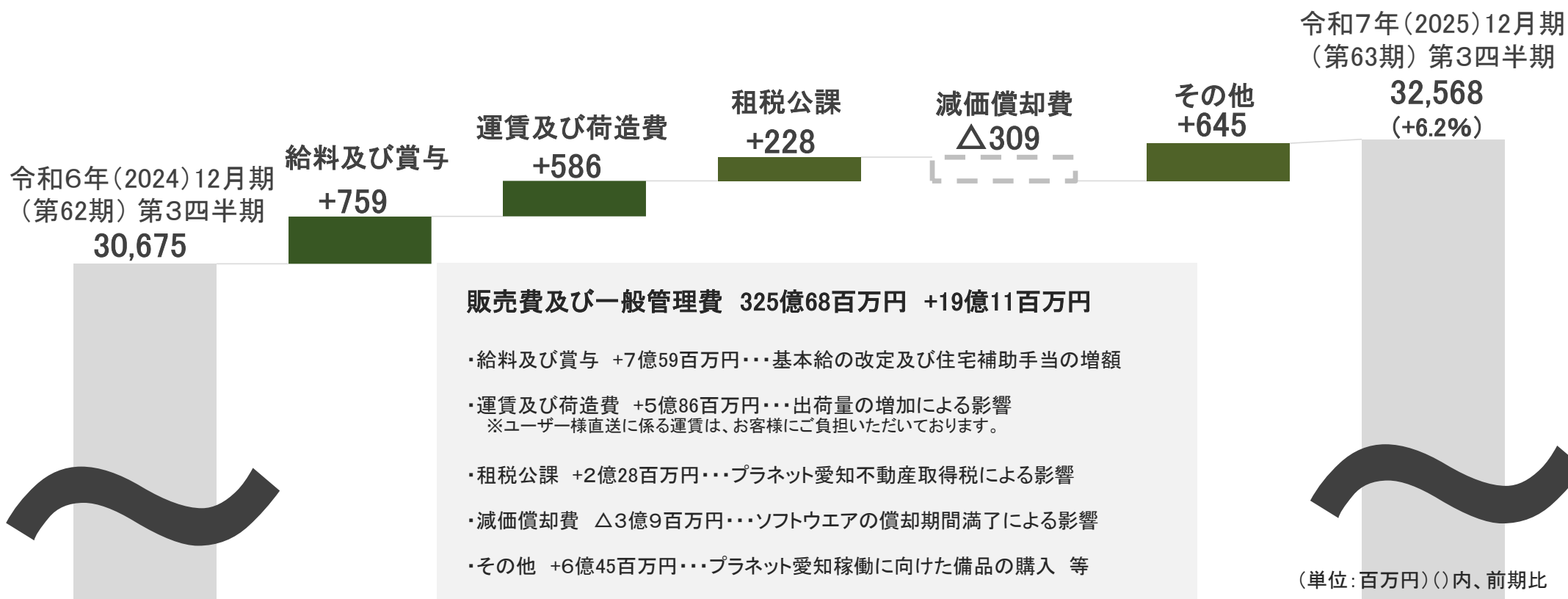
今後の設備投資計画

【連結】四半期ごとの実績・予算(四半期)

【連結】四半期ごとの実績・予算(累計)

## 【連結】販売費及び一般管理費

令和7年7月より全社員を対象とした基本給の改定を行ったことに伴い、給料及び賞与ならびに福利厚生費が増加し、また出荷量の増加に伴い運賃及び荷造費が増加した一方で、減価償却費等が減少したことにより、販売費及び一般管理費は前期比+6.2%となりました。



## 【連結】販売費及び一般管理費 詳細

※令和7年(2025)8月12日発表の修正予算です。  
(単位:百万円)

NO.	令和6年(2024)12月期 (第62期) 通期		令和7年(2025)12月期 (第63期) 第3四半期				令和7年(2025)12月期 ※(第63期) 通期予算	通期予算対前年比	
	実績	売上高 構成比	実績	売上高 構成比	前期増減額	前期比			
1	給料及び賞与	14,424	4.9%	10,456	4.4%	+759	+7.8%	15,868	+10.0%
2	運賃及び荷造費	9,085	3.1%	7,253	3.1%	+586	+8.8%	9,917	+9.2%
3	減価償却費	6,044	2.0%	4,134	1.7%	△309	△7.0%	5,685	△5.9%
4	支払手数料	3,012	1.0%	2,218	0.9%	+32	+1.5%	3,219	+6.9%
5	福利厚生費	2,713	0.9%	2,121	0.9%	+125	+6.3%	2,919	+7.6%
6	賞与引当金繰入額	686	0.2%	1,424	0.6%	+15	+1.1%	429	△37.5%
7	租税公課	1,447	0.5%	1,325	0.6%	+228	+20.8%	1,662	+14.9%
8	消耗品費	557	0.2%	624	0.3%	+197	+46.3%	735	+32.0%
9	広告宣伝費	567	0.2%	454	0.2%	+10	+2.4%	573	+1.1%
10	旅費及び交通費	595	0.2%	452	0.2%	+10	+2.5%	602	+1.2%
11	水道光熱費	524	0.2%	427	0.2%	+35	+9.0%	552	+5.3%
12	通信費	424	0.1%	350	0.1%	+33	+10.5%	448	+5.7%
13	販売促進費	272	0.1%	347	0.1%	+126	+57.2%	402	+47.8%
14	借地借家料	310	0.1%	266	0.1%	+36	+16.0%	362	+16.8%
15	車両費	307	0.1%	237	0.1%	+7	+3.4%	325	+5.9%
16	役員報酬	447	0.2%	221	0.1%	△15	△6.7%	418	△6.5%
17	交際費	86	0.0%	71	0.0%	+5	+8.1%	137	+59.3%
18	その他	196	0.1%	179	0.1%	+23	+15.0%	317	+61.7%
合計		41,704	14.1%	32,568	13.7%	+1,911	+6.2%	44,570	+6.9%

# 【連結】財務諸表・財務指標

## 貸借対照表

令和7年(2025)12月期(第63期)第3四半期 (単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産		流動負債	
現金及び預金	50,438	買掛金	24,278
売掛金	36,917	短期借入金	10,000
電子記録債権	2,000	1年内返済予定の長期借入金	15,000
商品	64,153	未払金	2,806
その他	2,776	未払法人税等	2,148
貸倒引当金	△ 3	賞与引当金	1,433
<b>流動資産合計</b>	<b>156,282</b>	役員賞与引当金	99
固定資産		その他	2,111
有形固定資産		<b>流動負債合計</b>	<b>57,877</b>
建物(純額)	60,783	固定負債	
機械及び装置(純額)	5,972	長期借入金	55,000
工具、器具及び備品(純額)	1,750	役員退職慰労引当金	151
土地	39,275	長期預り保証金	2,773
建設仮勘定	20,600	その他	2
その他(純額)	2,013	<b>固定負債合計</b>	<b>57,927</b>
<b>有形固定資産合計</b>	<b>130,395</b>	<b>負債合計</b>	<b>115,804</b>
無形固定資産		純資産の部	
ソフトウェア	4,300	株主資本	
その他	2,178	資本金	5,022
<b>無形固定資産合計</b>	<b>6,478</b>	資本剰余金	4,711
投資その他の資産		利益剰余金	170,848
投資有価証券	2,863	自己株式	△ 84
繰延税金資産	797	<b>株主資本合計</b>	<b>180,497</b>
再評価に係る繰延税金資産	154	その他の包括利益累計額	
その他	575	その他有価証券評価差額金	876
貸倒引当金	△ 143	土地再評価差額金	△ 335
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>4,248</b>	為替換算調整勘定	562
<b>固定資産合計</b>	<b>141,122</b>	その他の包括利益累計額合計	1,103
<b>資産合計</b>	<b>297,405</b>	<b>純資産合計</b>	<b>181,601</b>
		<b>負債純資産合計</b>	<b>297,405</b>

企業経営の大動脈である物流センター、支店社屋、データセンター、車両に至るまで、自社保有こそが最大の効果をもたらすと考え、「持つ経営」を推進しています。

TRUSCO

## キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	令和6年(2024)12月期(第62期) 第3四半期	令和7年(2025)12月期(第63期) 第3四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,654	6,954	△ 699
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 11,169	△ 17,460	△ 6,291
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,237	19,642	16,404
現金及び現金同等物に係る換算差額	25	△ 32	△ 57
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 251	9,103	9,355
現金及び現金同等物の期首残高	43,085	41,135	△ 1,950
現金及び現金同等物の期末残高	42,834	50,239	7,405

## 自己資本比率

	令和6年(2024)12月期(第62期)	令和7年(2025)12月期(第63期) 第3四半期	増減(pt)
自己資本比率	64.4%	61.1%	△ 3.3

## その他財務指標

	令和5年(2023)12月期 (第61期)	令和6年(2024)12月期 (第62期)	増減(pt)
ROA(総資産経常利益率)	7.9%	7.8%	△ 0.1
ROE(自己資本利益率)	7.9%	9.6%	+1.7

### <ROEに対する考え方>

当社では、企業価値向上のための継続的な投資をすることで利益を拡大し、長期的かつ安定的に上昇させることが重要だと考えています。お客様の利便性向上を大切に、事業の結果としてROEが高まるというのが本来の姿であると考えています。なお、当社の株主資本コストは約6~7%と認識しており、これを上回る水準の資本効率を実現しております。

Copyright 2025 TRUSCO NAKAYAMA Corporation. All rights reserved.

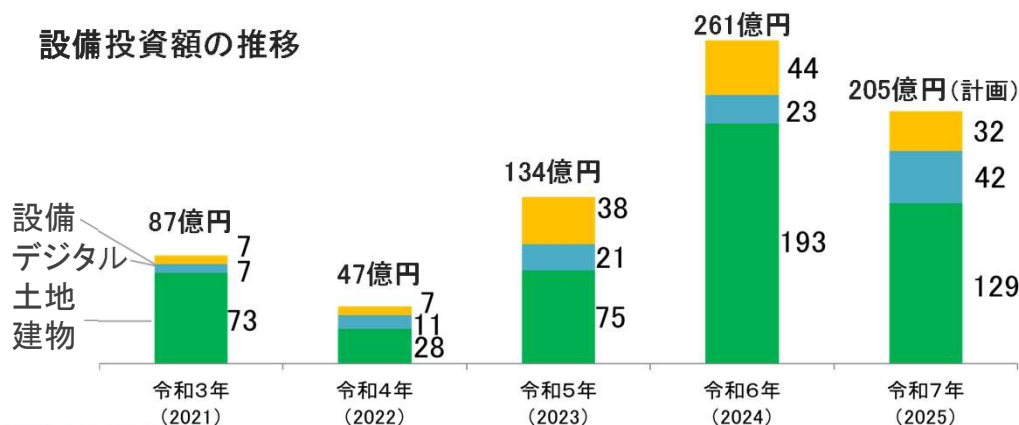
# 【連結】設備投資一覧

## 主な設備投資の実績

(単位:百万円)

令和7年(2025) 主な設備投資 内訳		令和7年(2025) 3Q実績	令和7年(2025) 3Q実績 合計	令和7年(2025) 投資計画 合計
土地 建物	①プラネット新潟 新築工事(総投資額:166億円)	7,468	土地・建物計 7,884	土地・建物計 12,986
	②プラネット愛知 新築工事(総投資額:200億円)	353		
	③プラネット埼玉 寮 新築工事(総投資額:9億円)	50		
	④その他	13		
デジタル	⑤基幹システム「Paradise(パラダイス)」基盤刷新(総投資額:22億円)	1,193	デジタル計 2,369	デジタル計 4,250
	⑥トラロジス基盤更改	138		
	⑦ユーザー様向けサイト「トラスコ オレンジブック.Com クロス」構築	115		
	⑧その他	923		
設備	⑨プラネット愛知 物流機器(総投資額:100億円)	1,180	設備計 2,686	設備計 3,278
	⑩プラネット埼玉 物流機器強化(総投資額:2億円)	209		
	⑪その他	1,297		
⑫合計			12,941	20,515

## 設備投資額の推移



### <設備投資額に関して>

・設備投資予定額には、計画中のものも含まれているため、投資額は変動する場合があります。

### <減価償却費に関して>

・第64期(2026)のプラネット愛知(総投資額300億円)、プラネット新潟(総投資額180億円)稼働後の減価償却費は第65期(2027)に約100億円を予定しています。

# 今後の設備投資計画

## Ⅰプラネット愛知



### 【プラネット愛知の役割】

- ①在庫100万アイテム保有可能拠点
- ②東海～西日本全域の物流強化
- ③「ニアワセ+ユーチョク」機能強化の重点拠点
- ④MRO商材調達においてユーチョクを業界の主流に

【所在地】愛知県北名古屋市沖村白弓1-1

【アクセス】名鉄犬山線 西春駅より約 2.5 km(車で9分)

【敷地面積】12,595 坪 (41,634 m<sup>2</sup>) 【延床面積】 26,802 坪 (88,602 m<sup>2</sup>)

【建物構造】複合構造(柱 RC 梁 S 構造)、免震構造

【階数】倉庫4階、事務所4階

【在庫アイテム数】100万アイテム 【出荷行数】 10万行/日

【建屋竣工】2025年2月 【出荷開始】 2026年5月(予定)

【投資総額】土地・建物:約200億円、設備:約100億円

**TRUSCO**

## Ⅰプラネット新潟



### 【プラネット新潟の役割】

- ①ホームセンター向け納品体制の強化
- ②ファクトリー向け大物商品出荷センター
- ③海外一括仕入れ商品ストックセンター
- ④新潟支店向けの在庫確保

【所在地】新潟県三条市福島新田字松橋下丁431番2

【アクセス】上越新幹線 燕三条駅より7km(車で15分)

【敷地面積】7,956坪 (26,300 m<sup>2</sup>) 【延床面積】 14,622坪 (48,338m<sup>2</sup>)

【建物構造】複合構造(柱RC 梁 S 構造)、免震構造、消雪装置

【階数】倉庫4階、事務所3階

【在庫アイテム数】16万アイテム 【出荷行数】 3.5万行/日

【建屋竣工】2026年3月(予定) 【出荷開始】 2026年8月(予定)

【投資総額】土地・建物:約172億円、設備:約14億円

## 【連結】四半期ごとの実績・予算(四半期)

令和7年(2025)12月期(第63期)第3四半期【四半期ごと】

(単位:百万円)

予算について:第1四半期・第2四半期は期初予算、第3四半期・第4四半期は令和7年(2025)8月12日発表の修正予算にて記載しております。

		第1四半期(△1日)			第2四半期(±0日)			第3四半期(±0日)			第4四半期(△1日)		
		予算/実績	構成比	前期比	予算/実績	構成比	前期比	予算/実績	構成比	前期比	予算	構成比	前期比
売上高	予算	77,482	100.0	+7.7	78,218	100.0	+9.3	80,680	100.0	+10.6	86,085	100.0	+9.5
	実績	79,164	100.0	+10.1	79,068	100.0	+10.5	79,117	100.0	+8.5	-	-	-
売上総利益	予算	16,131	20.8	+8.9	16,287	20.8	+5.8	16,570	20.5	+12.5	17,695	20.6	+5.6
	実績	16,610	21.0	+12.1	16,723	21.2	+8.7	16,387	20.7	+11.3	-	-	-
販売費及び一般管理費	予算	10,836	14.0	+10.4	11,276	14.4	+7.0	11,266	14.0	+9.3	11,794	13.7	+6.8
	実績	10,766	13.6	+9.7	10,742	13.6	+2.0	11,059	14.0	+7.3	-	-	-
営業利益	予算	5,295	6.8	+6.0	5,011	6.4	+3.2	5,303	6.6	+20.1	5,900	6.9	+3.3
	実績	5,843	7.4	+16.9	5,981	7.6	+23.2	5,328	6.7	+20.7	-	-	-
経常利益	予算	5,304	6.8	+4.7	5,016	6.4	+2.6	5,198	6.4	+18.8	5,837	6.8	+2.0
	実績	5,817	7.3	+14.8	5,898	7.5	+20.7	5,242	6.6	+19.8	-	-	-
親会社株主に帰属する 四半期/中間/当期純利益	予算	3,634	4.7	+3.5	3,440	4.4	+6.4	3,569	4.4	※ △26.5	4,003	4.7	△10.9
	実績	4,002	5.1	+13.9	3,982	5.0	+23.2	3,604	4.6	※ △25.8	-	-	-

※ 前期に旧大阪本社売却に伴う特別利益26億67百万円を計上していた影響により減少しています。

## 【連結】四半期ごとの実績・予算(累計)

令和7年(2025)12月期(第63期)第3四半期【累計】

(単位:百万円)

予算について:第1四半期・第2四半期は期初予算、第3四半期・第4四半期は令和7年(2025)8月12日発表の修正予算にて記載しております。

		第1四半期(△1日)			第2四半期(△1日)			第3四半期(△1日)			通期(△2日)		
		予算/実績	構成比	前期比	予算/実績	構成比	前期比	予算/実績	構成比	前期比	予算	構成比	前年比
売上高	予算	77,482	100.0	+7.7	155,700	100.0	+8.5	238,914	100.0	+10.4	325,000	100.0	+10.2
	実績	79,164	100.0	+10.1	158,233	100.0	+10.3	237,350	100.0	+9.7	-	-	-
売上総利益	予算	16,131	20.8	+8.9	32,418	20.8	+7.3	49,904	20.9	+11.1	67,600	20.8	+9.6
	実績	16,610	21.0	+12.1	33,334	21.1	+10.4	49,722	20.9	+10.7	-	-	-
販売費及び一般管理費	予算	10,836	14.0	+10.4	22,112	14.2	+8.7	32,775	13.7	+6.9	44,570	13.7	+6.9
	実績	10,766	13.6	+9.7	21,509	13.6	+5.7	32,568	13.7	+6.2	-	-	-
営業利益	予算	5,295	6.8	+6.0	10,306	6.6	+4.6	17,129	7.2	+20.0	23,029	7.1	+15.3
	実績	5,843	7.4	+16.9	11,825	7.5	+20.0	17,154	7.2	+20.2	-	-	-
経常利益	予算	5,304	6.8	+4.7	10,320	6.6	+3.7	16,914	7.1	+18.0	22,752	7.0	+13.4
	実績	5,817	7.3	+14.8	11,716	7.4	+17.7	16,959	7.1	+18.3	-	-	-
親会社株主に帰属する 四半期/中間/当期純利益	予算	3,634	4.7	+3.5	7,074	4.5	+4.9	11,553	4.8	※ △0.4	15,557	4.8	△3.3
	実績	4,002	5.1	+13.9	7,984	5.0	+18.4	11,588	4.9	※ △0.1	-	-	-

※ 前期に旧大阪本社売却に伴う特別利益26億67百万円を計上していた影響により減少しています。

# 05

## 経営計画

【連結】第63期通期経営計画

【連結】第63期セグメント別経営計画

業績見通し

ありたい姿—中期経営能力目標—

## 【連結】第63期通期経営計画

上期業績を鑑み、通期予算を上方修正しています。

お客様の利便性向上のために継続して取り組んでいる、在庫拡大戦略、物流設備投資、デジタル投資等による業績拡大が下期も継続することを見込み、通期売上高予算を前年比+10.2%に引き上げました。販売費及び一般管理費については、7月にベースアップを実施したことにより約5億円の増額が見込まれるものの、修繕費や消耗品費など各費用の実施見直し、抑制を図り、当初計画予算を維持する見込みです。

■令和7年(2025)12月期(第63期) 計画

※1令和7年(2025)8月12日発表の修正予算です。

	令和7年(2025)12月期(第63期) 期初予算	構成比	令和7年(2025)12月期(第63期) 修正予算※1	構成比	前年比
売上高	3,174億30百万円	—	3,250億00百万円	—	+10.2%
売上総利益	657億00百万円	20.7%	676億00百万円	20.8%	+9.6%
販売費及び一般管理費	445億70百万円	14.0%	445億70百万円	13.7%	+6.9%
(内、減価償却費)	57億67百万円	1.8%	57億7百万円	1.8%	△5.6%
営業利益	211億30百万円	6.7%	230億29百万円	7.1%	+15.3%
経常利益	211億70百万円	6.7%	227億52百万円	7.0%	+13.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	145億20百万円	4.6%	155億57百万円	4.8%	※2 △3.3%
1株当たり配当金	55円50銭	—	59円00銭	—	+5円00銭

※2親会社株主に帰属する当期純利益は、前年に旧大阪本社売却等に伴う特別利益27億78百万円を計上しています。 29

## 【連結】第63期セグメント別経営計画

売上高については、上期業績を反映して通期予算を修正しています。

■令和7年(2025)12月期(第63期) セグメント別 計画

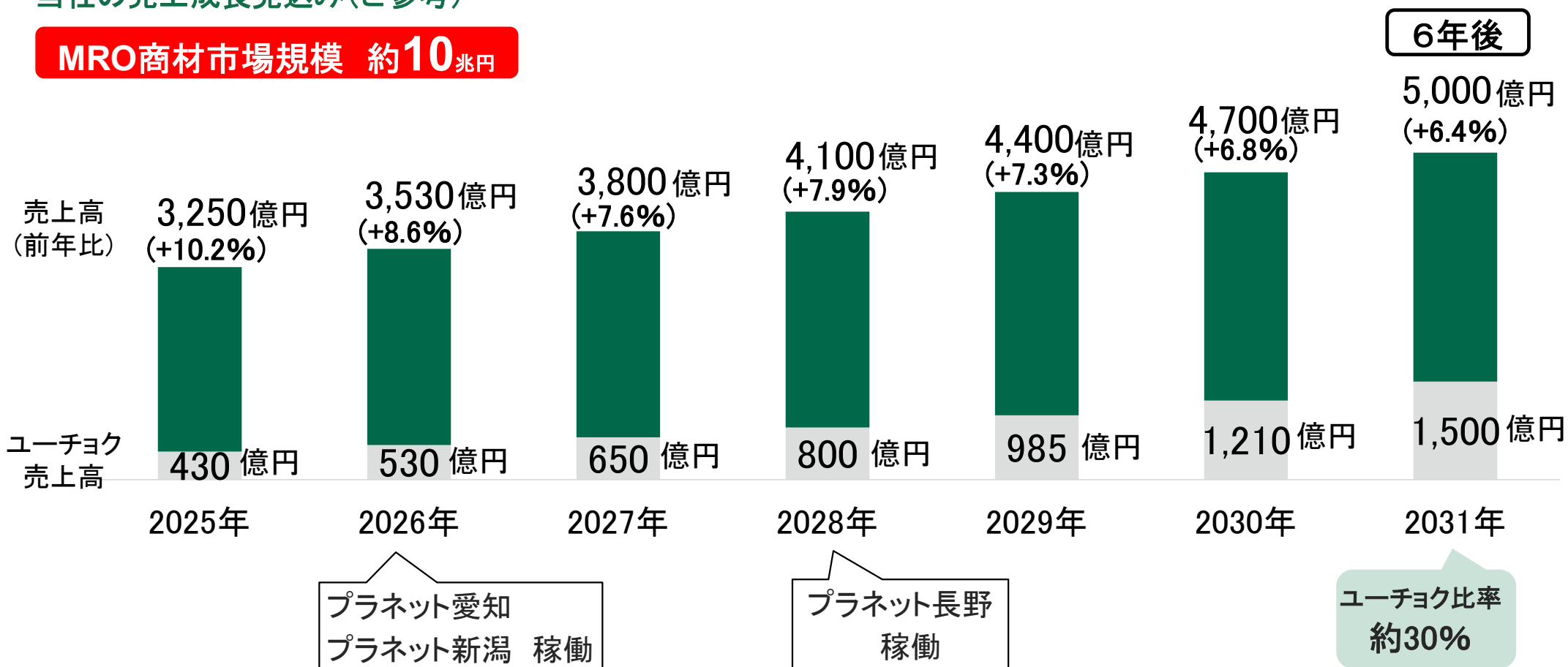
※令和7年(2025)8月12日発表の修正予算です。

	令和7年(2025)12月期(第63期) 期初予算	構成比	令和7年(2025)12月期(第63期) 修正予算※	構成比	前年比
ファクトリールート	2,104億83百万円	66.3%	2,154億80百万円	66.4%	+9.4%
eビジネスルート	748億58百万円	23.6%	770億92百万円	23.7%	+13.1%
ホームセンタールート	286億65百万円	9.0%	290億70百万円	8.9%	+8.4%
海外ルート	34億24百万円	1.1%	33億55百万円	1.0%	+8.5%
合計	3,174億30百万円	100.0%	3,250億00百万円	100.0%	+10.2%

# 業績見通し

当社の売上成長見込み(ご参考)

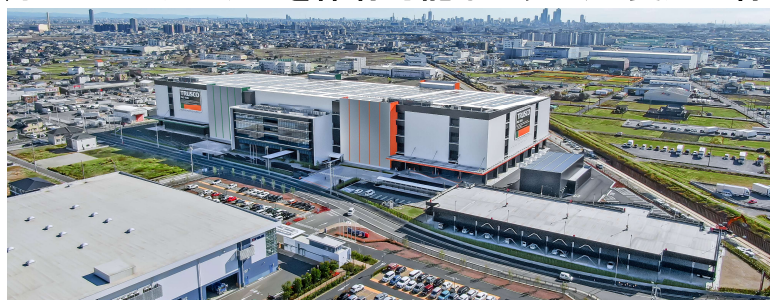
**MRO商材市場規模 約10兆円**



# 「ありたい姿」—中期経営能力目標—

## 1. 2030年までに在庫100万アイテムを保有できる企業になりたい。

- ・2024年末の在庫アイテム数は61万アイテム、2026年5月に100万アイテムを保有可能なプラネット愛知が稼働



## 2. 1日24時間受注、1年365日出荷できる企業になりたい。

- ・2019年よりトラスコ オレンジブック.Comにて24時間受注を開始  
日曜日以外出荷対応中

## 3. 欠品、誤受注、誤出荷のない企業になりたい。

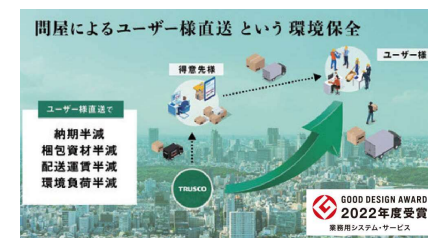
- ・在庫アイテム数の拡充と同時に、商品の必要在庫数を売上実績から予測計算する在庫管理システム「ZAICON3」を用いた在庫管理を実施  
2024年末の在庫出荷率は92.6% (前年比+0.5pt)
- ・システム受注率88.0% (前年比+0.9pt) の向上により誤受注減少
- ・GAS(ゲート式仕分けシステム)等マテハン機器を導入し、誤配率は0.023% (5,000行に1行)

## 4. 棚卸作業のない企業になりたい。

- ・フリーロケーション導入拠点(プラネット埼玉・プラネット大阪など12拠点)では、入荷・出荷作業と同時に棚卸を実施する連動棚卸機能を実装し、棚卸作業負荷を軽減

## 5. 問屋であってもユーザー様直送をストレスなくできる企業になりたい。

- ・プラネット埼玉・大阪・東海・東北・東関東にI-Pack(アイパック)[高速自動梱包出荷ライン]を導入し、年間372億円、625万個をユーザー様へ直送
- ・2025年 ユーザー様直送  
売上高目標 430億円  
個口数目標 770万個



## 6. お見積りに瞬時にお応えできる企業になりたい。

- ・AI見積「即答名人」の自動回答スピードの圧倒的な速さが好評で利用が進み、2024年は全見積行数の30.1%の見積りが自動で回答された

## 「ありがたい姿」—中期経営能力目標—

### 7. 業界「最速」「最短」「最良」の納品を実現できる企業になりたい。

- ・納期0日、究極の即納を実現するMROストックカーを1,414件（前年比+211件）導入
- ・ユーザー様直送やユーザー様商品引取サービスなど、最良で多様な納品形態を実現



### 8. 可能な限り環境負担の小さい企業になりたい。

- ・ニアワセ+ユーチョコ(荷物詰合わせ+ユーザー様直送)で環境負荷半減
- その他、納期半減・梱包資材半減・配送運賃半減・作業負荷半減

### 9. リサイクル、リユース、リターナブルにも積極的な企業になりたい。

- ・1998年から修理工房「直治郎」サービスを展開しており、2024年の売上高は22億円(前年比+2.4%)
- ・繰り返し使用可能な梱包材 リターンクッションなどの環境負荷の小さいプライベートブランド商品を開発

### 10. 日本のモノづくりを支えるプラットフォーム企業になりたい。

- ・2024年、商品データベース「Sterra(ステラ)」のリニューアルにより、1,000万アイテム以上の商品データ保有が可能
- ・ユーザー様が必要な商品を簡単に見つけ、購入できるECサイトを構築中

### 11. 業界の常識、習慣、定説、定石を塗り替えることのできる企業になりたい。

- ・在庫拡大戦略、「ニアワセ+ユーチョコ」(荷物詰合わせ+ユーザー様直送)強化、持つ経営、手形全廃、ライバルパートナーシップ戦略など立案

# 06

## 各種重要指標

商品/カタログ・メディア

物流

販売

デジタル

人事

## 重要指標(商品/カタログ・メディア)

重要指標		令和6年(2024)12月期 (第62期)通期	令和7年(2025)12月期 (第63期)第3四半期	令和7年(2025)12月期 (第63期)計画
商品	在庫アイテム数【単体】	611,708	615,538	640,000
	在庫金額(億円)	553	641	638
	総仕入先数(社)	3,637	3,702	3,760
	内)海外仕入先数(社)	353	365	373
	PB商品売上高(百万円)	50,478	39,222	54,000
	PB商品売上高構成比(%)	17.1	16.5	17.0
カタログ メディア	トラスコ オレンジブック 掲載アイテム数(アイテム)	422,000	—	464,000
	トラスコ オレンジブック.Com公開ア イテム数(フリーサイト)(アイテム)	4,552,330	4,111,430	5,000,000

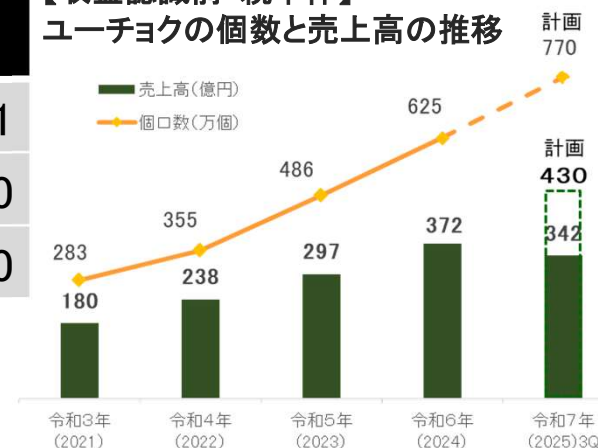
【収益認識前・親単体】  
 全社売上高における新規在庫品売上高  
 推移



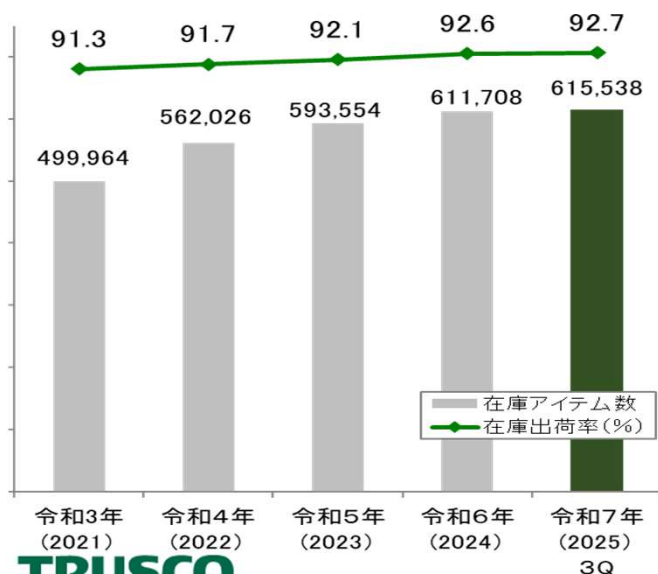
# 重要指標(物流)

重要指標		令和6年(2024)12月期 (第62期)通期	令和7年(2025)12月期 (第63期)第3四半期	令和7年(2025)12月期 (第63期)計画
物流	在庫出荷率(%)	92.6	92.7	93.1
	ユーザー様直送個口数(万個)	625	574	770
	ユーザー様直送売上高(億円)	372	342	430

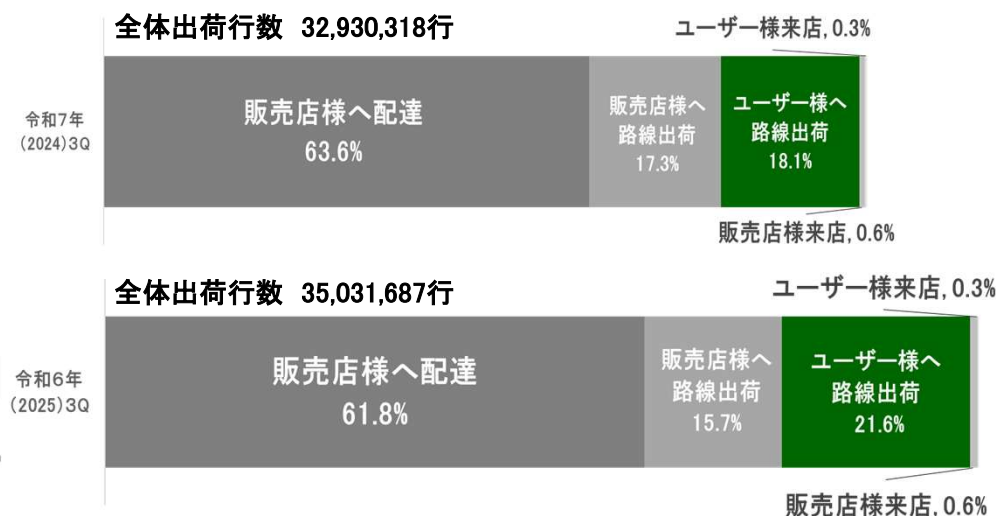
【収益認識前・親単体】  
ユーチョコの個数と売上高の推移



在庫アイテム数と在庫出荷率(即納率)の推移



納品区分別構成比(出荷行数別)



【ユーチョコのメリット】

納期半減、配送負荷半減  
作業負荷半減、梱包資材半減  
環境負荷半減

I-Pack®

【高速自動梱包出荷ライン】  
出荷能力 : 720CS/h(1ライン)、  
約24人分  
導入センター: 東北、埼玉(3ライン)  
東関東 東海、  
大阪 計7ライン



## 重要指標(物流)

重要指標		令和6年(2024)12月期 (第62期)	令和7年(2025)12月期 (第63期)第3四半期	令和7年(2025)12月期 (第63期)計画
物流	備車配達便数(台)	146	138	134
	自社配達便数(台)	132	141	146
	自社配達便率(%)	47.5	50.5	52.1
	出荷1行当たり人件費 (円)	156.7	—	156.0

### 配達便・社内間輸送 台数 令和7年(2025)12月期(第63期)第3四半期

	台数	前期末比
総配達便数	279台	+1台
備車便(契約配達便)	138台	△8台
自社配達便	141台	+9台
社内間輸送便	35台	±0台
備車便(契約便)	30台	±0台
自社便	5台	±0台
配達便・社内間輸送便 計	314台	+1台

#### 配送について

配送ルートや在庫の社内間移動を効率化することで配達便・社内間輸送便の見直しをすすめ、台数の適正化を図っています。また、お客様へのサービス向上を目指し、自社配送便(当社社員による配達便)の台数を増やしています。現在の自社配送便率は50.5%です。

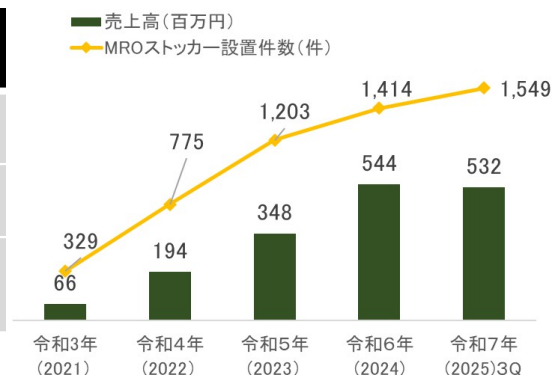
### 【親単体】在庫廃棄金額及び在庫金額の推移

	令和2年 (2020) (第58期)	令和3年 (2021) (第59期)	令和4年 (2022) (第60期)	令和5年 (2023) (第61期)	令和6年 (2024) (第62期)
廃棄金額(百万円)	50	55	65	67	77
在庫金額(億円)	406	416	441	494	538
廃棄率(%)	0.12	0.13	0.15	0.14	0.14

# 重要指標(販売)

重要指標		令和6年(2024)12月期 (第62期)通期	令和7年(2025)12月期 (第63期)第3四半期	令和7年(2025)12月期 (第63期)計画
販売	得意先法人数(社)	5,652	5,670	5,682
	MROストックカー導入数(件)	1,414	1,549	1,615
	オレンジコマース接続企業数(社)	2,631	2,801	2,830

【収益認識前・親単体】  
MROストックカーの設置件数と売上高の推移



【連結】販売口座数及び法人数の推移



TRUSCO®



- メリット-
- 管理コスト 0円
- 納期 0分
- 無駄遣い 0個

## 重要指標(デジタル)

重要指標		令和6年(2024)12月期 (第62期)通期	令和7年(2025)12月期 (第63期)第3四半期	令和7年(2025)12月期 (第63期)計画
デジタル	システム受注率(%)※1	88.0	88.3	88.5
	見積自動化率(%)※2	30.1	30.4	31.5
	WEB見積依頼率(%)	49.2	49.7	50.5

※1 総受注行数 (2025年1-9月) : 3,452万行

※2 総見積行数 (2025年1-9月) : 712万行

### システム受注率

(2025年9月末時点)

受注形態	受注行数 (千行)	行数占有率 (%)	行数占有率 前期比(pt)	受注金額 (百万円)	金額占有率 (%)	金額占有率 前期比(pt)
トラスコ オレンジブック.Com (販売店様・ユーザー様用)インターネット受注	12,548	36.3	△1.6	99,981	42.2	△1.0
トラスコEDI 販売店様発注システムとのデータ連携	9,169	26.6	+1.6	37,844	16.0	+0.8
オレンジコマース ユーザー様購買システムとの連携	1,080	3.1	+0.2	8,448	3.6	+0.3
EOS ホームセンター電子発注システム	7,694	22.3	+0.1	18,719	7.9	△0.3
計	30,492	88.3	+0.3	164,994	69.7	△0.2

2022年のインターネット受注システム「ウェブトラスコ」稼働より、受注の自動化を進めてまいりました。また、2020年の基幹システム「パラダイス3」稼働を皮切りに、サプライチェーンの中で自動化できる仕事は全て自動化することを目的に利便性の向上に努めています。

### AI見積「即答名人」

#### AIを活用し、見積を自動回答

得意先様よりいただく1日平均3万件の見積に、いかに早く返答するかが課題の一つです。そこで、AIによる自動見積回答システム「即答名人」を導入し、受注・見積実績をもとに、定期的に商品の適正価格を自動計算する特価最適化をすることで見積の自動化を推進。得意先様への回答スピード向上(最短5秒)につなげています。



# 重要指標(人事)

社員数【連結】 令和7年(2025)9月末現在 (単位:名)

	女	男	合計	前期比
役員	1	7	8	△4
執行役員	0	5	5	±0
キャリア(海外・国内)	176	408	584	+31
デジタルキャリア	1	1	2	+2
ロジスキャリア	0	2	2	+1
キャリア(地域)	51	41	92	+36
スペシャリスト	9	11	20	△1
エリア	284	252	536	△19
エキスパート	1	0	1	±0
ロジスエリア	4	32	36	+3
ロジス	118	312	430	+39
契約社員	1	56	57	+6
現地法人	28	26	54	+11
健康保険組合出向者	2	0	2	±0
中山財団出向者	0	1	1	±0
社員計	675	1,147	1,822	+109
パート	1,080	379	1,459	+6
従業員計	1,756	1,533	3,289	+111



女性社員比率37%／女性セールス43人／女性キャリア比率33.8%  
 ※パートタイマーの人数は実際の雇用人数

平均年齢・年収

	平均年齢(歳)			平均年収(万円)			
	女	男	全体	キャリア	エリア	ロジス	全体
令和6年(2024)	33.3	43.4	39.7	840	687	562	720
令和5年(2023)	33.2	43.4	39.9	775	627	526	662
令和4年(2022)	33.0	43.4	39.8	771	633	494	661
令和3年(2021)	32.8	43.2	39.6	724	596	456	615
令和2年(2020)	32.1	41.9	38.4	721	601	461	619

※全体平均年収は執行役員を含み、退職金「ファイナンシャルボンド」を除く金額  
 ※令和4年(2022)の平均年収には物価高騰による生活支援臨時ボーナスが含まれております。  
 ※令和6年(2024)12月期は業績連動賞与を支給。

入社者数および退職者数【連結】

	令和3年(2021)		令和4年(2022)		令和5年(2023)		令和6年(2024)		令和7年(2025) 3Q	
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男
社員数(名)	571	1,061	577	1,062	589	1,072	626	1,083	675	1,147
	1,632		1,639		1,661		1,709		1,822	
入社数(名)	26	25	47	51	59	64	59	84	86	92
	51		98		123		143		178	
退職者(名)	45	45	39	44	49	49	26	69	30	36
	90		83		98		95		66	
離職率(%)	7.3	4.1	6.3	4.0	7.7	4.4	4.0	6.0	4.3	3.0
	5.2		4.8		5.6		5.3		3.5	

# 07

## ESG情報

TRUSCO「やさしさ、未来へ」プロジェクト  
サステナビリティに関する指標  
社会との関わり・コーポレートガバナンス

## TRUSCO「やさしさ、未来へ」プロジェクト

### TRUSCO「やさしさ、未来へ」プロジェクト

当社では、「私たちの小さな小さな取り組みが、未来の大きな思いやりにつながるよう、地球に優しい企業を目指します」という想いから、1998年に「やさしさ、未来へ」という環境理念を掲げ、さまざまな環境への取り組みを行ってきました。

サステナビリティという言葉が広まる25年以上前から、地球社会を未来へつないでいくという考えが会社に根付いてきているのです。

これまで、「やさしさ、未来へ」は環境のみを指す言葉でしたが、これからは、TRUSCO「やさしさ、未来へ」プロジェクトとして地球環境も含めたヒトと社会の未来へ向けた取り組みを行っていきます。



詳細はこちら

### 「やさしさ、未来へ」基本方針 ～TSV～

「人や社会のお役に立ててこそ事業であり、企業である」というところざしのもと、事業を通じて社会価値と企業価値の両方を生み出すこと(TSV※)で、社会課題の解決や持続可能な地域社会へ貢献します。

※TSVはTRUSCO+CSV(Creating Shared Value: 共有価値の創造)から命名しています。

この基本方針のもと、ヒトと社会の未来へ向けた取り組みを行っていきます。

# サステナビリティに関する指標

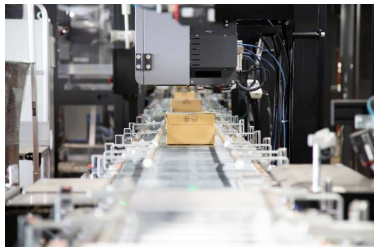
## CO<sub>2</sub>排出量(2024年末時点)

燃料の使用におけるCO<sub>2</sub>排出量(Scope1) 2,329t-co<sub>2</sub> / 電気の使用におけるCO<sub>2</sub>排出量(Scope2) 7,226t-co<sub>2</sub>

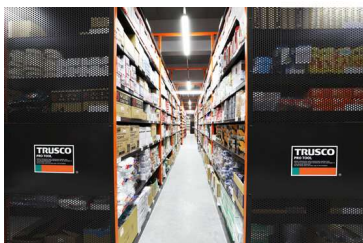
サプライチェーンにおけるCO<sub>2</sub>排出量(Scope3※) 1,887,207t-co<sub>2</sub> ※ Scope3 のみ2023年の実績となります。



## 各種サービスによるCO<sub>2</sub>排出削減量 年間CO<sub>2</sub>排出削減量 15,829 t-CO<sub>2</sub>



修理工房  
**直治郎**  
なおしろう



**TRUSCO**

	削減量 (t-CO <sub>2</sub> )	削減量計算式
ニアワセ(荷物詰合わせ)とユーザー様直送	3,285	+  + 梱包材使用半減 梱包材廃棄半減 配送回数半減
MROストッカー	5,661	+ 配送回数減少 買い出しなし
修理工房「直治郎」	1,235	- 新品購入の排出量 「直治郎」で修理した場合の排出量
固定費型物流(固定ルート配送)	5,130	+  + 梱包材使用なし 梱包材廃棄なし 配送距離削減
幅広い在庫	1,590	- 仕入先様から販売店様に都度出荷した場合の排出量 トラスコの在庫としてまとめて出荷した場合の排出量



Copyright 2025 TRUSCO NAKAYAMA Corporation. All rights reserved.

# サステナビリティに関する指標

## トラスコ発電所 19か所

2024年 年間太陽光発電量 2,624千kWh

※約600世帯分の年間電力使用量に相当

(環境省HP「家庭部門のCO<sub>2</sub>排出実態統計調査」より)

再生可能エネルギー電力自給率 15.5%

## 「TRUSCO」商品の環境対応

自社ブランド「TRUSCO」の商品企画開発において「省資源」「ゴミを減らす」「長く使える」など環境基準を定め、製品設計から商品の使用、廃棄に至るまでの各側面から環境に配慮した商品開発を進めています。



**TRUSCO 倍巻きテープ**  
品番:GNT5050Eなど

芯を小さくした、50Mのガムテープ。2倍使えるのに収納スペースも半減。倍使えて、取替半減、ゴミ半減、エコにも貢献するテープです。

**TRUSCO**



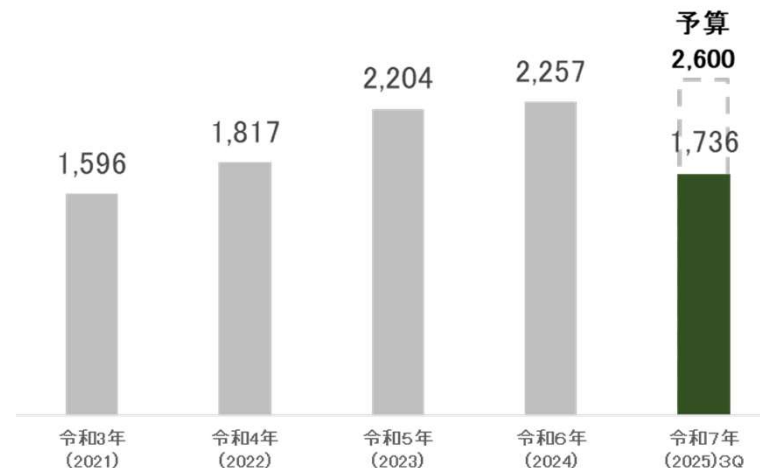
## 修理工房「直治郎(な お じ ろ う)」の役割

プロツールに欠かせない安全性や精度を維持し、使い慣れた工具・機器等を長く使うことで環境負荷を抑えるとともに、コスト削減に貢献することを目的としたサービスです。2022年1月からは直治郎課を再設し、サービスの浸透・向上に努めます。

修理工房「直治郎」8つのサービス

修理	再研磨	校正	リユース
加工	メンテナンス	組立	施工・設置

## 修理工房「直治郎(な お じ ろ う)」売上高 (単位:百万円)



Copyright 2025 TRUSCO NAKAYAMA Corporation. All rights reserved.

# 社会との関わり・コーポレートガバナンス

## 一社提供テレビ番組「TRUSCO 知られざるガリバー」

「世界に誇る日本企業を紹介することで日本に誇りと活力を与えたい」という当社の想いを伝える一社提供番組です。毎回1社ずつ、日本企業の姿や想いをご紹介します。



平成29年(2017)開始

## NGO団体ペシャワール会への寄付

令和2年(2020)開始

干ばつが進行するアフガニスタンで、「百の診療所より一本の用水路」という思いから総合的農村復興事業の活動をするペシャワール会を支援するために寄付を行っています。



故・中村哲医師とアフガニスタンの職員

## 昇格オープンジャッジシステム(OJS=360度評価)

主任以上の昇格対象候補者を知る全社員で評価し、その結果を昇格などの人事の処遇に反映させる制度です。(年に1回実施)

方法	結果
昇格の可否を○・×で判定	支持率80%以上かつ、最低得票数を満たした場合昇格

平成13年(2001)開始

## 取締役会(経営会議)

原則月1回開催する取締役会において意思決定を行っています。より広い視野と透明性を確保するために、執行役員、部長などの参加者からの意見を広く求める運用をしています。



取締役会(経営会議)の様子

# 08

## 参考情報

株式情報

業界での指数比較

当社売上高指数・鋁工業生産指数

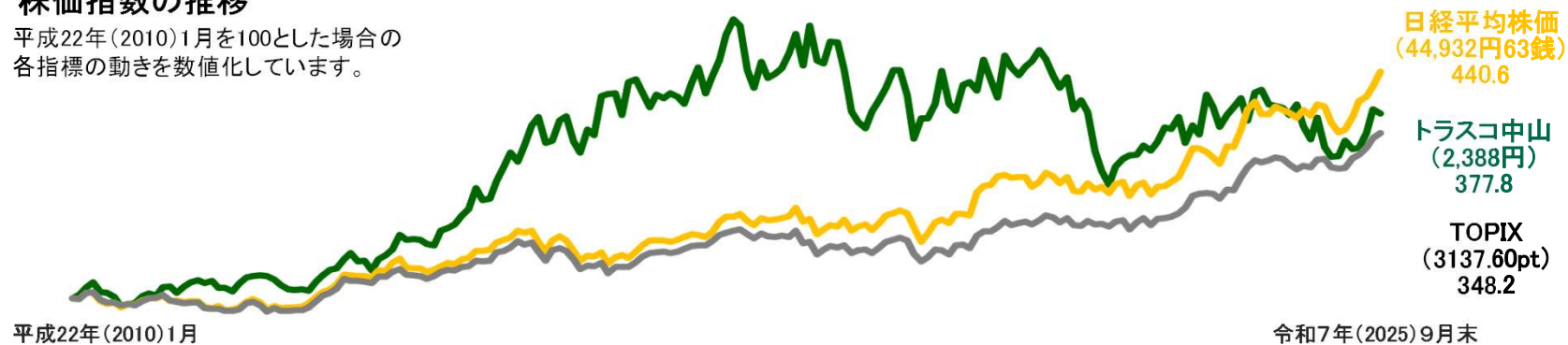
# 株式情報

## 株主情報（単位:名）

	令和4年 (2022) 12月末	令和5年 (2023) 6月末	令和5年 (2023) 12月末	令和6年 (2024) 6月末	令和6年 (2024) 12月末	令和7年 (2025) 6月末
株主合計	15,466	15,111	14,798	14,225	13,885	15,123
単元株主	14,436	13,798	13,534	13,004	12,663	13,690
単元未満株主	1,029	1,312	1,263	1,220	1,221	1,432
自己名義株式	1	1	1	1	1	1
金融機関・証券会社	55	53	54	51	52	62
国内法人	540	542	535	519	510	525
外国法人等	222	217	213	211	204	218
個人その他	14,648	14,298	13,995	13,443	13,118	14,317
自己名義株式	1	1	1	1	1	1

## 株価指数の推移

平成22年(2010)1月を100とした場合の  
各指標の動きを数値化しています。



## 業界での指数比較

### 同業界の商社、直販企業(上場企業)の業績

#### 【卸売】

		決算月		売上高(百万円)	前年比	時価総額 (億円)
ユアサ商事(株)	2026年	3月	予想	550,000	+ 4.1	1,107
(株)山善	2026年	3月	予想	530,000	+ 2.7	1,345
トラスコ中山(株)	2025年	12月	予想	325,000	+ 10.2	1,572
フルサト・マルカHD(株)	2025年	12月	予想	162,000	+ 0.2	564
(株)日伝	2026年	3月	予想	140,000	+ 3.9	740
杉本商事(株)	2026年	3月	予想	51,800	+ 4.7	406
(株)NaITO	2026年	2月	予想	45,000	+ 3.3	75
7社合計		-		1,803,800	-	-

#### 【小売】

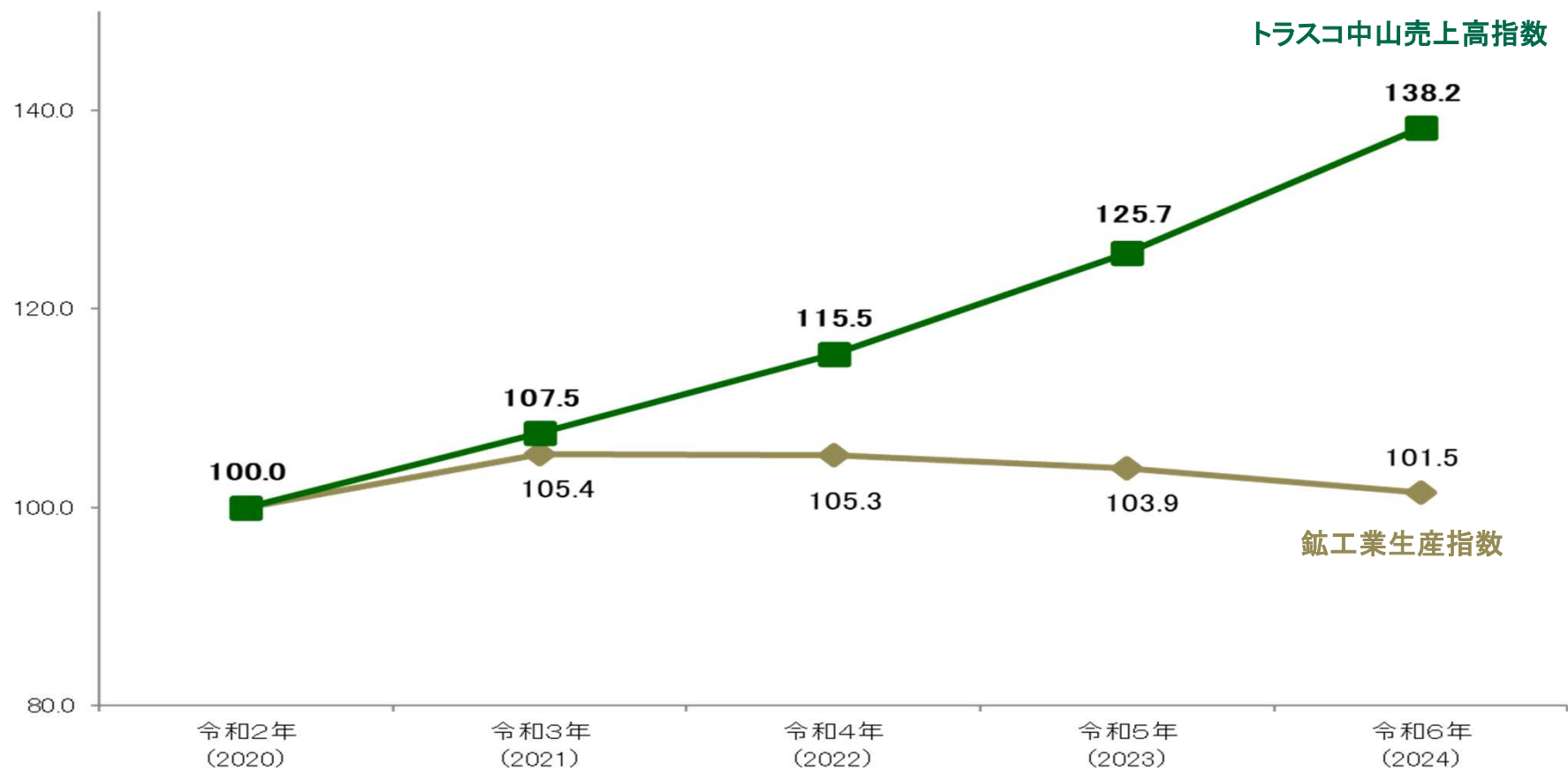
		決算月		売上高(百万円)	前年比	時価総額 (億円)
(株)ミスミグループ	2026年	3月	予想	422,000	+ 5.0	6,592
(株)MonotaRO	2025年	12月	予想	328,173	+ 13.9	9,894
2社合計		-		750,173	-	-

・機械工具業界の商社には左記のような企業がありますが卸売業・小売業で事業展開が異なり、それぞれ取扱う主力商品も異なっています。  
 ・当社は工作機械などの大型機械の取扱いは無く、消耗品の取扱いが中心です。

・連結決算を発表している会社は連結決算の数値を記載しています。  
 ・各数値は令和7年(2025)10月29日時点で公表されている実績及び予想を記載しています。  
 ・時価総額は、令和7年(2025)10月29日終値にて記載しています。

## 当社売上高指数・鋳工業生産指数

当社売上高指数及び鋳工業生産指数の推移



TRUSCO®

※指数基準: 令和2年(2020)を100とする。

※鋳工業生産指数は令和7年(2025)2月4日時点で経済産業省より公表された数値を元に作成しています。